

1

次のそれぞれの文の——線部の、漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

- (1) 親鳥がひなを育む。
- (2) 世を治める。
- (3) 事件の真相を話す。
- (4) うすい色調の服。
- (5) フエをふく。
- (6) クスリバコを用意する。
- (7) インシユ運転はゆるされない。
- (8) 紅葉のキセツになる。

2

次の(1)～(6)の——線部は、あとの□の部分でどんな形になりますか。(例) にならって、それぞれの□に入るひらがなを、一字あるいは二字で書いて答えなさい。

(例) 「書く」

① 名前を書□ます。

② 名前を書□う。

▽ (答え) ① き ② こ

(1) 「走る」

① どこまで走□ばいいのだろう。

② ぼくが走□ても、勝てないだろう。

(2) 「する」

① さあ、公園でサッカーを□よう。

② 誤解を□れるのはさげたい。

(3) 「暑い」

① 明日は暑□はならないらしい。

② 去年の夏はもっと暑□た。

(4) 「くやしい」

① くやし□ば、もっと努力したらいい。

② 本番で失敗するのはくやし□う。

(5) 「不思議だ」

① 不思議□ことが起きる。

② 弟が怒っても不思議□はない。

(6) 「正確だ」

① 時計が正確□ば、もう帰る時間だ。

② 彼の計算はいつも正確□た。

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

子どもたちはボール遊びが大好きです。私もよく子どもたちとボール遊びをして遊びました。ボールを投げたり、蹴ったり、追いかけたり、転がしたり、ボールが1つあるとさまざまに遊べます。跳ねたり、曲がったり、回転したりするボールの動きは、科学に満ち溢れています。

私の息子は小学生のときにサッカーが大好きでした。そして、**①**「あろうことが夏休みの自由研究で『無回転シュートはなぜ落ちるのか?』を調べたいと言いつ出したのです。」

しかし当時、無回転シュートといえば、世界でも有名な限られた選手のみが蹴ることのできる幻のシュートでした。とてもそんなものを題材に研究することはできません。私はあきらめるように言いましたが、それでも息子は友だちと無回転シュートを蹴る練習を始め、来る日も来る日もボールを蹴っていました。

そんなある日のことです。「蹴られるようになった!」と息子が、*****意気揚々と帰ってきました。**②**まさか、と私は思いました。一流選手でも難しいシュートが、夏休みに練習したくらいでできるわけではありません。

ところが、です。子どもたちの放ったシュートは、どれも無回転で複雑な変化をしたのです。**③**私はびっくりしました。どうして、こんなことができるようになったのでしょうか。

聞けば、ボールの空気を少し抜くと、無回転シュートを打てるということを見つけたようです。ボールを投げたり、蹴ったりす

20

10

5

ると、力が掛かった方向に回転します。回転をさせないためには、ボールのど真ん中を、まっすぐに押し出すように蹴らなければならないのです。子どもたちは、ボールの空気を抜いたことで、蹴る足とボールが密着しやすくして、ボールをまっすぐに押し出すことができるようになったのです。

残念ながら、自由研究をするだけの日数は残されていませんでしたが、夏休みの間に無回転シュートを打てるようになっただけでも、十分に無回転シュートの謎には迫っています。

子どもたちに不可能はありません。子どもたちの可能性の前では、大人の*****既成概念など何の役にも立たないことを思い知らされました。

〔稲垣栄洋「幻のミラクルシュート」より〕

(注) 意気揚々とⅡほこらしげに。

既成概念Ⅱ社会で広く通用している、物事のとらえ方。

(1) 線**①**「あろうことが夏休みの自由研究で『無回転シュートはなぜ落ちるのか?』を調べたいと言いつ出した」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

① このように息子が言っていることに対して、「私」はどのような気持ちになりましたか。次からふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア むずかしいことにチャレンジすることはよいことなので、がんばってやり切ってほしいという気持ち。

イ サッカーが好きとはいっても小学生にはむずかしすぎる

30

25

ので、ちがうことにした方がよいという気持ち。

ウ 子どもたちだけでは研究がうまくいかないの、自分も少し手伝ってやろうという気持ち。

エ 子どもたちがすぐにあきらめることがわかってるので、やる前に止めてやろうという気持ち。

② 無回転シュートを、どのようなシュートだと「私」はとらえていましたか。ふさわしいことばを本文中から三十字でさがし、その初めと終わりの五字を書きぬいて答えなさい。

(2) — 線② 「まさか、と私は思いました」とありますが、このとき「私」が思ったことを、「まさか」のあとに省略しょうりゃくされていることばをおぎなつて、「まさか」と思った。」という形で、三十字をこえないように（、や。も字数に数えます）書いて答えなさい。

(3) — 線③ 「私はびっくりしました。どうして、こんなことができるようになったのでしょうか。」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

① このときの「私」の様子を表したふさわしいことばを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 腹はらにすえかねる

イ 顔から火が出る

ウ 開いた口がふさがらない

エ 首を長くする

② 子どもたちは、どうしたことで無回転シュートを打てるようになったのですか。次からふさわしいものを一つ選び、記

号で答えなさい。

ア ボールの空気を抜いて、ボールを蹴るときに足に感じる重さを軽くしたこと。

イ ボールの空気を抜いて、ボールを蹴ったあとに、ボールが変形するようにしたこと。

ウ ボールの空気を抜いて、どこがボールのど真ん中なのかをわかりやすくしたこと。

エ ボールの空気を抜いて、ボールを蹴るときに足とボールがぴったりと付くようにしたこと。

(4) 本文中の「私」の思いとしてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 子どもはたくさんを経験けいけんして人間的に成長していくので、大人はただ温かく見守るだけでよい。

イ 子どもには大人の常識じょうしきでは測りきれない可能性があるの、子どものやることをむやみに否定ひていしない方がいいだろう。

ウ 子どもが持っている可能性にはかぎりがないので、かんたんなことばかりやらせても意味はないだろう。

エ 子どもは時として大人には思いもよらない行動を取るの、それが悪い方向に進まないように注意した方がよい。

4

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(1)～(19)は段落の番号を示します。)

① 人間のおなかは、つりあいがよくとれていて、美しく見えません。それはやはりおへそがあるからでしょう。

② おへそをいちばん多く見ている人といえば、それはお医者さんでしょうが、^①画家や彫刻家も、たくさんのおへそを見ていることでしょう。

③ 画家や彫刻家は、はだかの人の美しさを絵にいたり、木や石にぎざざりするので、おへその形や大きさなどについて、お医者さんより、もっとよく見ているかもしれません。

④ 古いイタリアの女神ヴィーナスは、世界でいちばん美しい女神だといわれ、そのはだかのすがたは、石にぎざざり絵にかかれたりしていますが、このヴィーナスのおへその位置をはかった人がいます。

⑤ その人のしらべによると、ヴィーナスのおへそから頭のとっぺんまでの長さとおへそから足の先までの長さとは、^{*}三対五のわりあいになっているそうです。

⑥ また、^{*}かいぼう学のせんもんの学者がはかった記録によると、日本人のお年よりでは、おへそが、ちょうどからだのまん中にあるということです。

⑦ はだかの絵や彫刻では、おへその位置がたいせつなですね。

⑧ わたしが子どものころには、はだかになってあそんでいるとき、遠くのほうで、かみなりがなりだすと、^②かみなりにおへ

20

15

10

5

そをとられる」とこわがって、すぐ腹がけをしたものでした。そして、どうしてかみなりはおへそがすきなのだろうか、ふしぎに思ったものでした。

⑨ かみなりのいちばん多いのは夏ですが、おひるをすぎてからかみなりがなり、雨がふるような日は、たいてい朝からむしむしあつい日です。^①かみなりがなって雨がふると、雨のつづ

が、空の高いところにあるつめた空気をおろしてきます。それできゅうにすずしくなります。こんなとき、はだかのままでいたら、からだのためによくないのはきまっています。

⑩ 今ではもう、かみなりがおへそをとるなんて考える子は、ひとりもないでしょう。

⑪ でも、むかしの人は生活の知恵として、かみなりになるようなときには、子どもがおなかをひやさないように、腹がけをしたり、着物をきせるために、こんな話をつくりだしたのでしょう。

⑫ おへその形は、だれのも同じかというと、そうではありません。顔の形がちがうように、人によってそれぞれがいます。

⑬ 顔には人相というものがあり、手には手相というものがありますが、おへそにも「へそ相」があるそうです。はだかの人の美しさは、おへその形によってきまるといわれているくらいです。

②、おへそを美しく見せようとして、おへそのおけしようがはやったこともありまし。

⑭ おへそはいつも、きれい(清潔)にしておかなければなりませんが、あまりいじるのはよくありません。まだ科学のすすんでいないころには、おへそについても、いろいろ^{*}迷信がありまし

45

40

35

30

25

た。

15 「おへそにうめばしをあてておくと、車や船によわない」など
 といいますが、それはまだしも、「おなががいたいときには、お
 へそに塩をつめるとなれる」とか、「出べその上にみそをぬって、
 * おきゅうをすると、出べそがなれる」とかいうのを聞き、その
 まま信じて実行し、ひどいめにあった人もいました。

16 おへそをいじっても、病気がなれるようなことはなく、それ
 どころか、あかちゃんのところには、おへそはむしろ、病気をこ
 すしんばいのあるところだ。おへそからおこった病気がもとで
 死ぬような、かわいそうなあかちゃんもいます。おとなでも、
 「おへそのゴマをむりにとると、おなががいたくなる」というく
 らいですから、塩をつめたり、おきゅうをすえるなどは、^③もつ
 てのほかです。

17 ところで、^④おへそのゴマはどうしてできるのでしょうか？

18 おへそのゴマのように見えるものは、たいていは、ごみやあ
 かがたまったものです。ですから、おふろにはいったときには、
 おへそをきれいにあらって、ごみやあかがたまらないように心が
 けましょう。

19 おへそは、わたくしどもが生まれてくるまでは、命のつなと
 してはたらいしてくれたものですから、だいにしましょう。

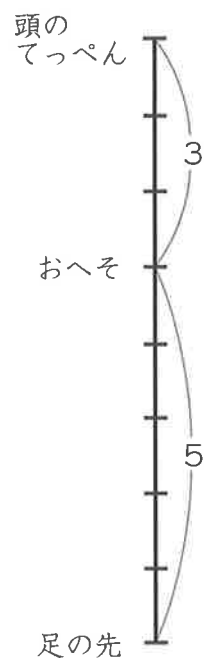
〈折井英治「それでもおへそはだまつている」より〉

©JIKS14

(注) 三対五のわりあい^{じっさい}実際の長さで表すと、ヴィーナスの

おへそから頭^{あたま}のてっぺんまでの長さは

約77cm、おへそから足の先までの長さ
 は約125cm。



かいぼう学^{くわがく}生物の形や、内部の構造^{こうぞう}を研究する学問。
 迷信^{まぎん}科学的ではなく、生活に害をあたえることが多い
 とされる考え方。

おきゅう^{ひふ}皮膚の上にモグサ(よもぎ)をおき、それに
 火をつけて、熱のしげきで病気を治す方法。

(1) 線①「画家や彫刻家も、たくさんのおへそを見てい
 る」とありますが、その理由を表したふさわしいことばを、
 「から」に続く形で、本文中から二十八字(、も字数に数えま
 す)でさがし、その初めと終わりの五字を書きぬいて答えな
 さい。

(2) 線②「かみなりにおへそをとられる」について、次のそ
 れぞれの問いに答えなさい。

①「かみなりにおへそをとられる」という言い伝えはどのよう
 に生まれたと筆者は考えていますか。次からふさわしいもの
 を一つ選び、記号で答えなさい。

ア かみなりがなっているときに、親が外で遊んでいる子ど

もをしかりつける決まり文句として生まれた。

イ かみなりがなり、気温が下がるときに、子どもが体調をくずさないように気をつけさせることばとして生まれた。

ウ かみなりのときは雨が必ずふってくるので、親が子どもに早く家の中に入らせるための作り話として生まれた。

エ かみなりは人の近くに落ちることがあるので、子どもにかみなりからにげる癖をつけさせるために生まれた。

② これ以外に、このような言い伝えを挙げている段落を本文中から一つさがし、段落の番号を答えなさい。

(3) ①・②に入るふさわしいことばを、それぞれ次から一つずつ選び、記号で答えなさい。(同じものは二度選べません)

ア なぜなら イ それで ウ または

エ つまり オ ところが

(4) — 線③「もつてのほか」のここでの意味としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 絶対にやってはいけない。

イ 少ししか効果がない。

ウ なくてはならない。

エ 慎重にやらなければならない。

(5) — 線④「おへそのゴマ」の正体は何ですか。ふさわしいことばを本文中から五字で書きぬいて答えなさい。

(6) 本文全体を、「おへその位置」、「かみなりとおへそ」、「おへその形とあつかい方」の三つに分けると、「かみなりとおへそ」について書かれているのはどこからどこまでですか。その

初めと終わりの段落の番号を答えなさい。

(7) 本文の内容に合っているものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 画家や彫刻家はおへそをよく見ているので、お医者さんよりもおへそからくる病気についてはくわしい。

イ おへそをかみなりにとられるといった言い伝えは、時の流れにともなって、信じる子どもが少なくなってきた。

ウ 「へそ相」がよいと人にあたえる印象がよくなるため、おへそのおけしゅうには大きな効果がある。

エ おへそがきたないと病気になりやすいので、毎日ごしごしと力強くあらってやる必要がある。

(これで問題は終わりです)

1 次の問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。

(1) 次の計算をしなさい。ただし、⑥と⑧はあまりも^{もと}求めなさい。

① $2973 + 428$

② 358×37

③ $8.3 - 4.5$

④ $\frac{10}{11} - \frac{3}{11} - \frac{4}{11}$

⑤ $87 \div 3$

⑥ $73 \div 6$

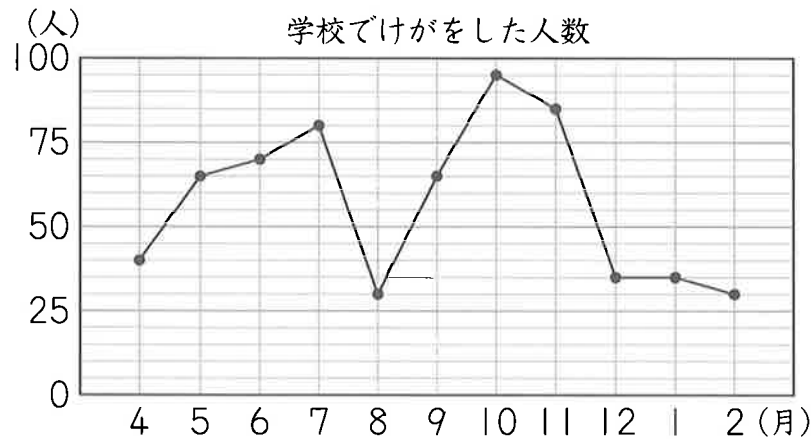
⑦ $640 \div 5$

⑧ $538 \div 8$

(2) ある書店で、760さつのノートを7さつずつ^{たば}束にしました。ノートの束は、^{もっと}最も多くて何束できて、ノートは何さつあまりますか。

(3) 130gの箱に、同じ重さのお皿を4まいと、1この重さが114gのおわんを3こ入れたところ、全体の重さが1kgになりました。お皿1まいの重さは何gですか。

- 2 下の折れ線グラフは、ある小学校の^お今年の4年生について、学校でけがをした人数を1か月ごとに調べて表したものです。これについてあとの問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。



- (1) たてのじくの1目もりは何人を表していますか。
- (2) けがをした人数が最も多かったのは、何月で何人でしたか。
- (3) 5月から2月までの間で、けがをした人数が前の月より少なかった月は何回ありましたか。
- (4) 下の表は、同じ小学校の今年の5年生について、学校でけがをした人数を1か月ごとに調べて表したものです。これについてあとの①、②に答えなさい。

学校でけがをした人数(5年生)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
人数(人)	65	90	60	80	45	75	60	45	55	50	40

- ① 同じ月で、けがをした人数について、5年生の方が4年生より人数が多かった月は何回ありましたか。
- ② 同じ月で、けがをした人数について、4年生と5年生の人数のちがいが最も大きかった月は、何月でちがいは何人でしたか。

3 次の問いに答えなさい。なお、かいとうらん解答欄には答えのみ書きなさい。

(1) 4709億^{おく}を10倍した数を、漢字だけを使って表しなさい。

(2) 次のア～ウの数を小さい順^{じゅん}に左からならべ、記号で答えなさい。

ア 80600000

イ 720000000

ウ 8000万

(3) 次の□にあてはまる数を答えなさい。

① 5兆^{ちよう}6000億+3兆7000億= □ 兆 □ 億

② 3500万×12= □ 億 □ 万

(4) 右のような、0から9までの数字が書かれた10まいのカードがあります。これらをすべてならべて10けたの整数をつくります。たとえば、

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

6 5 3 0 8 1 2 9 4 7 とならべると、

6530812947ができます。これについて次の

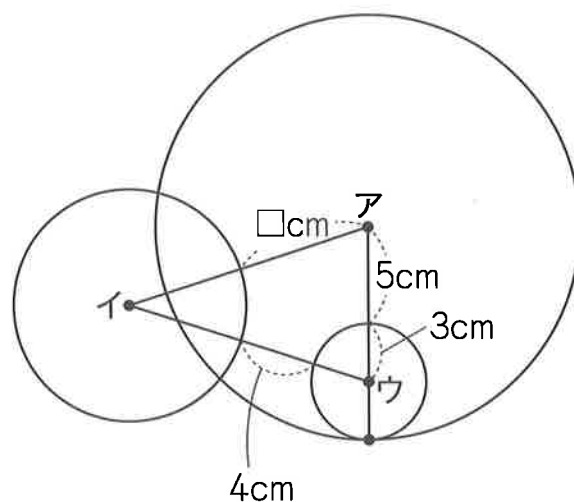
①、②に答えなさい。ただし、0のカードは左はしにならべないものとします。

① つくることができる整数のうち、最も小さい数を、0、1、2、…などの数字だけを使って答えなさい。

② つくることができる整数のうち、50億に最も近い数を、0、1、2、…などの数字だけを使って答えなさい。

- 4 右の図のように、点ア、点イ、点ウをそれぞれ中心とする3つの円があります。これについて次の問いに答えなさい。なお、かいとうらん解答欄には答えのみ書きなさい。

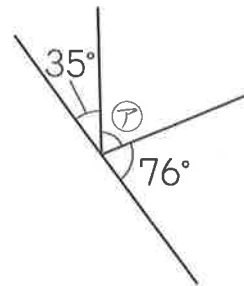
- (1) 点アを中心とする円の半径は
何cmですか。



- (2) 三角形アイウはアイとウイの長さが等しい二等辺三角形で、そのまわりの長さが
34cmのとき、図の□cmは何cmですか。

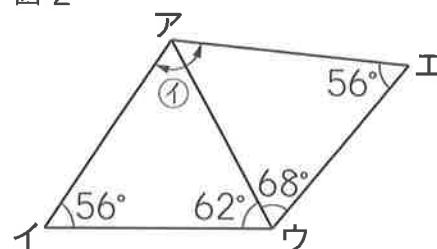
5 次の問いに答えなさい。なお、かいとうらん解答欄には答えのみ書きなさい。

(1) 右の図1で、 $\textcircled{ア}$ の角の大きさは何度ですか。 図1



(2) 右の図2で、三角形アイウはアイとイウの長さが等しい二等辺三角形、三角形アウエはアウとウエの長さが等しい二等辺三角形です。図2の $\textcircled{1}$ の角の大きさは何度ですか。

図2



- (3) 下の図3のような直角三角形アイウがあり，点エ，点オはアウの上の点です。この直角三角形アイウを，下の図4のようにイエとイオでそれぞれ折り返しました。これについてあとの①，②に答えなさい。

図 3

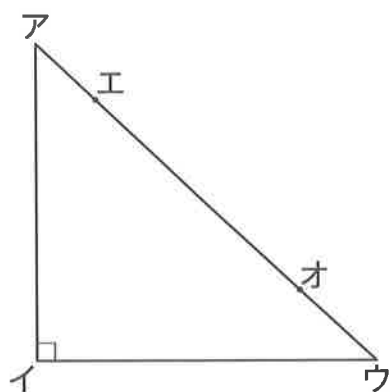
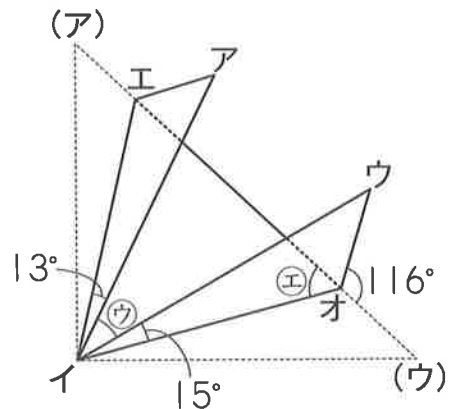


図 4



- ① $\angle \text{ウ}$ の角の大きさは何度ですか。

- ② $\angle \text{エ}$ の角の大きさは何度ですか。

(これで問題は終わりです)



※答えは、はっきりと濃く書き、直す場合には消しゴムで完全に消しなさい。
また、解答欄からはみ出してはいけません。
※記号の「ア」と「イ」、数字の「1」と「7」などは区別をつけてはっきりと書きなさい。
※解答欄には答えのみ書きなさい。

① 9月テスト 小4算数 解答用紙

太枠内に記入しなさい。受験番号は性別番号を○でかこみ、下3ケタを正しく記入すること。

②会場コード(右ツメ)	⑨受験番号	⑩科目	氏名	⑫総得点
	1 4 男1 女9	A 2		100

3点 × () 小計 /24	1	①		1	②		2	
		③		3	④		4	
		⑤		5	⑥	あまり	6	
		⑦		7	⑧	あまり	8	
		(2)	束できて、 さつあまる。					
4点 × () 小計 /8		(3)	g	10				

4点 × () 小計 /20	2	(1)		人	11
		(2)	月で	人	12
		(3)		回	13
		(4) ①		回	14
		②	月で、ちがいは		

4点 × () 小計 /24	3	(1)							16		
		(2)	→ →						17		
		(3) ①	兆 億				18	②	億 万		19
		(4) ①							20		
		②							21		

4点 × () 小計 /24	4	(1)					cm	22
		(2)					cm	23
	5	(1)					度	24
		(2)					度	25
		(3) ①					度	26
	②					度	27	

太枠内に記入しなさい。受験番号は性別番号を○でかこみ、下3ケタを正しく記入すること。

かいとう
算数解答

1	①	3401	②	13246
	③	3.8	④	$\frac{3}{11}$
	⑤	29	⑥	12あまり1
	⑦	128	⑧	67あまり2
	(1)		⑨	束できて、4さつあまる。
4点 × () 小計 /8	(2)	108		
	(3)	132	9	

2	(1)	5人	11
	(2)	10月で95人	12
	(3)	4回	13
	(4)	7回	14
	②	11月で、ちがいは40人	15

4点
×
()
小計
/20

3	(1)	四兆七千九十億	16
	(2)	ウ → ア → イ	17
	(3)	① 9兆3000億	18
	②	4億2000万	19
	③	1023456789	20
4点 × () 小計 /24	(4)	② 5012346789	21

4	(1)	11cm	22
	(2)	7cm	23
	(1)	69度	24
	(2)	118度	25
	(3)	① 34度	26
4点 × () 小計 /24	②	58度	27

かい 解 説

1 (2) $760 \div 7 = 108$ あまり4より、108束できて、4さつあまりあります。

(3) $1\text{kg} = 1000\text{g}$ です。お皿とおわんの重さの合計は、

$$1\text{kg} - 130\text{g} = 1000\text{g} - 130\text{g} = 870\text{g} \text{です。おわん3この重さは、}$$

$$114 \times 3 = 342(\text{g}) \text{だから、お皿4まいの重さは、} 870 - 342 = 528(\text{g}) \text{です。よって、お皿1まいの重さは、} 528 \div 4 = 132(\text{g})$$

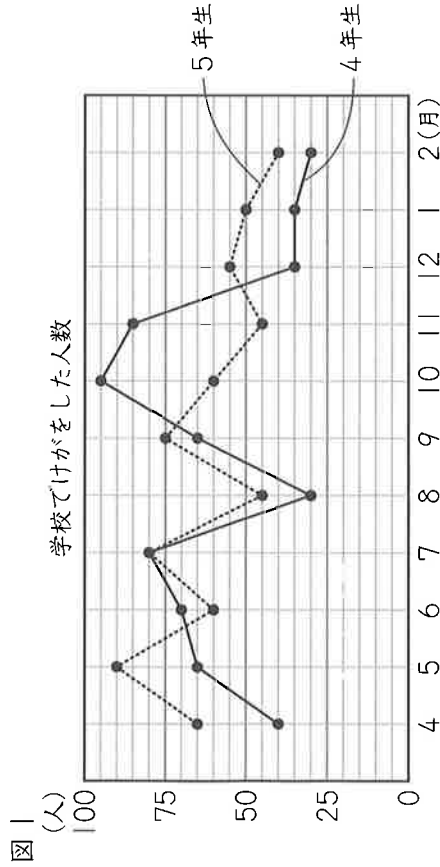
2 (1) 5目もりで25人を表しているから、1目もりは、 $25 \div 5 = 5(\text{人})$

(2) グラフの点が最も上にある月を読み取ります。グラフの点が最も上にあるのは10月で、75人の目より4目もり上です。4目もりは、

$$5 \times 4 = 20(\text{人}) \text{を表すから、10月の人数は、} 75 + 20 = 95(\text{人})$$

(3) グラフの折れ線は、前の月より少なくなると右下がりになります。右下がりになっているのは8月、11月、12月、2月の4回です。

(4) 5年生の人数のグラフをかきこむと、下の図1のようになります。



① 同じ月で、5年生の人数を表すグラフの点が4年生の人数を表すグラフの点より上になっているところを読み取ります。4月、5月、8月、9月、12月、1月、2月の7回です。

② 同じ月でちがいが最も大きいのは、けがをした人数を表すグラフの点中最もはなれている11月で、8目もりはなれています。よって、ちがいは、 $5 \times 8 = 40(\text{人})$ です。

* 11月のそれぞれの人数から、 $85 - 45 = 40(\text{人})$ と求めてもよいです。

3 (1) 整数は、10倍すると右はしに0を1つつけた数になり、位が1つ上がります。よって、4709億の10倍は(4兆7090億=)4兆7090億になります。この数を漢字で書くと、四兆七千九百億となります。

(2) ア、イ、ウの3つの数を位取りの表に 図2

表すと、右の図2のようになります。小さい順にならべると、ウ→ア→イとなります。

図2

ア 8 0 6 0 0 0 0 0
イ 7 2 0 0 0 0 0 0
ウ 8 0 0 0 0 0 0 0

(3) ① 5兆6000億+3兆7000億=8兆13000億=9兆3000億

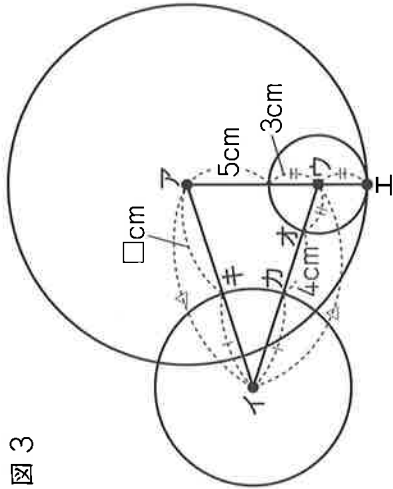
② $3500\text{万} \times 12 = 42000\text{万} = 4\text{億}2000\text{万}$

(4) ① 数字を小さい順にならべると最も小さい数ができますが、0は左はしにならないから、左はしの数字は0の次に小さい1になります。左はしから2番目からは、残った数字を小さい順にならべて、最も小さい数は1023456789です。

② 50億より大きくて最も近い数は5012346789で、50億とのちがいは12346789です。50億より小さくて最も近い数は4987653210で、50億とのちがいは12346790です。12346789 < 12346790より、50億に最も近いのは5012346789です。

4 (1) 点アを中心とする円の半径は、右の図3のアエの長さです。ウエの長さは、点ウを中心とする円の半径で3cmだから、点アを中心とする半径(アエ)の長さは、 $5+3+3=11(\text{cm})$

図3



- (2) 長さの等しい辺と半径に同じ印をつけると、図3のようになります。

アウの長さは、 $5+3=8(\text{cm})$ で、三角形アイウのまわりの長さが34cmだから、アイとウイを合わせた長さは、 $34-8=26(\text{cm})$ です。アイとウイの長さは等しいから、 $\text{アイ}=\text{ウイ}=26 \div 2 = 13(\text{cm})$ です。ウオは点ウを中心とする円の半径だから、その長さは3cmで、点イを中心とする円の半径は、 $\text{イキ}=\text{イカ}=13-3-4=6(\text{cm})$

よって、 $\square=\text{アイ}-\text{イキ}=13-6=7(\text{cm})$

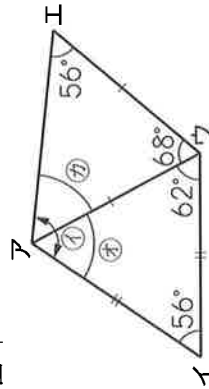
5 (1) ⑦=180-35-76=69(度)

- (2) 長さの等しい辺に同じ印をつける 図4

と、右の図4のようになります。

④=62度、⑧=56度です。よって、

$$\text{①}=62+56=118(\text{度})$$



- (3) 折り返した角の大きさは等しいことを利用します。

図5

- ① 右の図5で、⑥=13度、

$$\text{②}=15\text{度だから、}$$

$$\text{⑦}=90-13-13-15-15=34(\text{度})$$

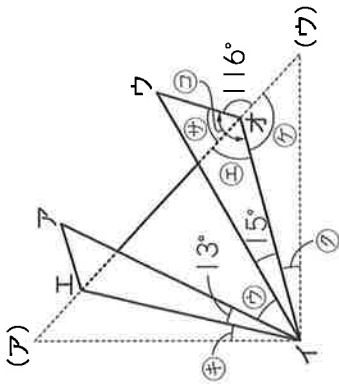
- ② 折り返した角だから、④と②の角の大きさは等しく、2つの角を合わせた角の大きさは、

$$360-116=244(\text{度})\text{です。}$$

よって、⑨=244÷2=122(度)だから、

$$\text{⑤}=180-122=58(\text{度})$$

* ④=180-116=64(度)より、⑦と②の角を合わせた角の大きさを、 $64+180=244(\text{度})$ と計算して、⑤の角の大きさを求めてもよいです。



1	2点	(1)	はぐくむ	5	(2)	おさめる	6	(3)	しんそう	7	(4)	しきちょう
2	2点	(1)	はぐくむ	5	(2)	おさめる	6	(3)	しんそう	7	(4)	しきちょう
3	2点	(1)	はぐくむ	5	(2)	おさめる	6	(3)	しんそう	7	(4)	しきちょう
4	2点	(1)	はぐくむ	5	(2)	おさめる	6	(3)	しんそう	7	(4)	しきちょう
5	2点	(1)	はぐくむ	5	(2)	おさめる	6	(3)	しんそう	7	(4)	しきちょう
6	2点	(1)	はぐくむ	5	(2)	おさめる	6	(3)	しんそう	7	(4)	しきちょう
7	2点	(1)	はぐくむ	5	(2)	おさめる	6	(3)	しんそう	7	(4)	しきちょう
8	2点	(1)	はぐくむ	5	(2)	おさめる	6	(3)	しんそう	7	(4)	しきちょう
9	2点	(1)	はぐくむ	5	(2)	おさめる	6	(3)	しんそう	7	(4)	しきちょう
10	2点	(1)	はぐくむ	5	(2)	おさめる	6	(3)	しんそう	7	(4)	しきちょう

2									
小計 2点 正解 〇 不正解 ×									
(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)				
①	①	①	①	①	①				
な	な	け	く	し	れ				
ら		れ							

19 17 15 13 11 9
 ② ② ② ② ② ②
 だ で か か さ っ
 しっ ろ っ

20 18 16 14 12 10
 ① ⑤ ⑥ ひらがな以外不可

小計 4点
 ×
 / 正 ()

減点
 - ()

3

① イ
26

② ウ
24

③ エ
25

(4)

(3)

(2)

(1)

イ
26

ウ
24

エ
25

イ
21

け
26

が
24

な
25

い
21

ま
26

さ
24

か
25

無
21

回
26

転
24

シ
25

ュ
21

シ
26

ュ
24

ー
25

ト
21

と
26

を
24

け
25

つ
21

た
26

た
24

。
25

わ
21

① 書きぬき
26

② 書きぬき
24

・蹴った
ない・成
い」は「打

[illegible]

(2) (別例)「まさか無回転シュートを打てるようにはならないと思った。」

〔別例〕「まさか子どもが無回転シュートは成功しないと思った。」

・「無回転シュート」にあたることはがないものは0点。

「(無回転シュートを) 蹴れない・蹴っていない・蹴ったわけがない・蹴ったはずがない・蹴れるはずがない」「(無回転シュートに) 成功しない・成功していない・成功したわけがない・成功したはずがない」にあたる内容がないものは〇点。「蹴れない」「打てない・放てない」でも可。

・「子どもが・息子が」の有無は問わない。

かい せつ

1 漢字の読み書き

2 ことばの変化

- (1) (6) 「走る」「する」のように、ものの動きや働き、存在を表すことばや、「暑い」「くやし
い」「不思議だ」「正確だ」のように、物事の様子や性質を表すことばは、あとに続くことば
(「ない・う・ます・た・こと・ば」など) によって形が変わります。

3 随筆(稲垣栄洋「幻のミラクルシュート」より)

- (1) ぼう線①に「あろうことか」とあることに注目します。「あろうことか」とは、「とんでもな
いことだ・けしからんことだ」という強い打ち消しの意味を表します。「私」がなぜそのよう
に思ったのかは直後の段落に書かれています。「当時、無回転シュートといえば、世界でも有
名な限られた選手のみが蹴ることのできる幻のシュートでした」とあり、そのようなシュ
ートを子どもたちが蹴るのはむずかしいと考えたのです。
- (2) 「まさか」のあとに続く内容は、ふつうに考えたときにありえないことになります。ここでは、
子どもたちが無回転シュートを蹴ることは、まさかありえないという意味になります。
- (3) ① ア「腹にすえかねる」は、いかりをがまんできなくなる様子、イ「顔から火が出る」は、
はづかしがる様子、エ「首を長くする」は、何かを期待して待ちこがれる様子を表します。
- ② ぼう線③の直後の段落に子どもたちが無回転シュートを蹴るためにした工夫が書かれてい
ます。「子どもたちは、ボールの空気を抜いたことで、蹴る足とボールが密着しやすくし
て」の部分が、エの内容と合っています。
- (4) 本文中の最後の段落に「子どもたちに不可能はありません。子どもたちの可能性の前では、
大人の既成概念など何の役にも立たないことを思い知らされました」とあり、これは無回転シ
ュートを蹴るために、大人である「私」が思いもしない方法を思いついた子どもたちを見て、
「私」が感じた内容です。子どもたちの可能性を否定しないという内容がイと合っています。

4 説明的文章(折井英治「それでもおべそはだまっている」より)

- (1) ぼう線①の直後の一文に「画家や彫刻家は、はだかの人の美しさを絵にかいたり、木や石
にぎざんだりするのですから」と理由が書かれています。「から」という理由を表すことばに
注目しましょう。
- (2) ① 「かみなりにおべそをとられる」という言い伝えが生まれた理由は、段落⑨に書かれていま
す。かみなりがなるような日は、雨がふりそうなむしむした暑い夏の日で、雨がふること
によって気温が急にさがり、そのようなときに「はだかのままでいたら、からだのためによ
くない」ので、親が子どもに腹がけなどをさせるためのことばとして生まれたのです。
- (3) ① 空らんの前には「朝からむしむしあつい日です」、あとには「きゅうにすずしくなりま
す」とあるので、反対の内容をつなぐ「ところが」が入ります。
- ② 空らんの前の「はだかの人の美しさは、おべその形によつてきまる」ことが原因で、あと
の「おべそのおけしやうがはやった」という結果につながるので、「それで」が入ります。
- (7) 本文中の段落⑩に「今ではもう、かみなりがおべそをとるなんて考える子は、ひとりもいな
いでしょう」と書かれていて、イの内容と合っています。アは「お医者さんよりもおべそから
くる病気についてはくわしい」、ウは「おべそのおけしやうには大きな効果がある」、エは「毎
日こしこしと力強くあらってやる必要がある」が、それぞれ本文中の内容と合っていません。